

12月定例議会の内容をわかりやすくお伝えします。

議会だより だいせん

83号

2026年1月27日発行
鳥取県大山町議会



<https://www.daisen.jp/gikai/>



どうする？ どうなる？ みんなの公民館

推し活だいせん工房の発表



好きなことをきっかけに人が集い、たまたま居合わせた人同士が自然に交流できる場が公民館には大切だと思います。目的がなくても居られる余白が、地域のつながりや学びにつながっていくと感じています。

どうする?
じへはる。

みんなが集い、ワクワクを育む

老朽化がきっかけで
公民館建て替えを検討
【中山】築51年 【名和】築46年
【大山】築49年

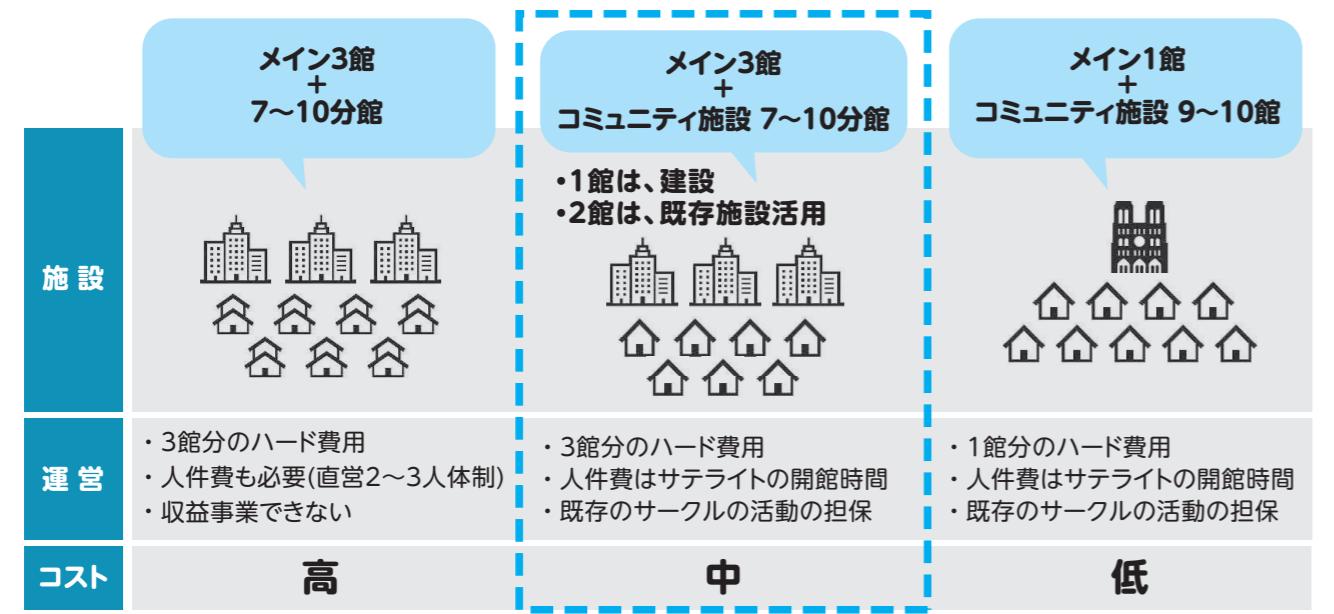
みんなの公民館

これまでの行政の取り組み

- 2023年9月 第1回住民意見交換会
- 2024年1月 第2回住民意見交換会
- 2024年3月 基本構想策定委員会設置 11月までに9回開催
- 2024年8月 基本計画策定委員会設置 専門家の意見をうかがう
- 2024年11月 ワークショップ開催 みんなで意見交換
- 2025年3月 基本構想策定
- 2025年10月 基本計画策定委員会による先進事例の視察
- 2025年12月 基本計画策定委員会にて基本計画案策定

住民意見を取りまとめた拠点の方針

拠点数は地域自主組織との連携を考慮し、10地区10館を想定している。
メイン1～3館とサテライト拠点7～10館が検討されている。



基本構想では
1館を新規で
建てる予定

どんな建物が
どこに
できるのかな?

そもそも公民館って何するところ?

公民館は市町村が設置する社会教育施設。
いつでも、誰でも、気軽に利用できる
学習・交流拠点です。

居心地がよく、人が自然と集まつくるような魅力的なデザインの建物を設計できる事業者を選定してほしいです。
30年40年と経った時に思い入れが出てくる建物にしたいですね。



一級建築士/基本計画策定委員
前田 淳さん

地域の子どもと大人がさまざまな形で大山町を「推す」ことを目的に集まり活動をしています。今回は映画づくりにチャレンジしています。
新しい公民館が多く活動の場として活用できることを期待しています。



推し活だいせん工房代表
池本 公美恵さん

次のページでは社会教育・公民館について全議員が熱い討論を繰り広げます

用語 「基本構想と基本計画」 基本構想は「将来の理想像(ビジョン)と基本理念」を示す長期的な指針で、基本計画は「その理想像を実現するための具体的な施策(手段)」をまとめた中期計画です。

大山トリビア 「阿弥陀川」 源流は天狗ヶ峰と三鈴峰をつなぐ稜線で、ブナ林の伏流水が源泉。名前の由来は、諸説ありひとつは源流付近で阿弥陀仏が発見されたこと。もうひとつは剣谷のあみだ岩が源流だからとされている。



議員討論会ダイジェスト

社会教育の将来像

つながりづくり

「つながりづくりには何が必要か」



情報以前に足りないのは“人”。与える人と求める人はいるが、その間をつなぐ“ハブ役”がない。



既に福祉・子育て・まちづくりなど小さな集団は存在している。社会教育課だけでなく、課をまたいで既存の集団を活用すべきである。



本来その役割は社会教育主事・社会教育士が担うべきだが、場数と実践がなければハブにはなれない。議員自身もその役割を担うべきではないか。



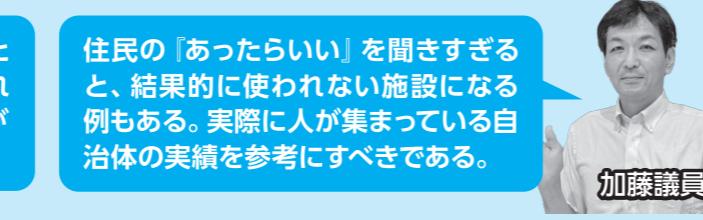
拠点公民館に人材を集中配置し、明確なハブを置くことが合理的である。責任の所在が明確な体制づくりが必要ではないか。

活動する場所について

「住民参加を重ねるべきか／実績を重視すべきか」



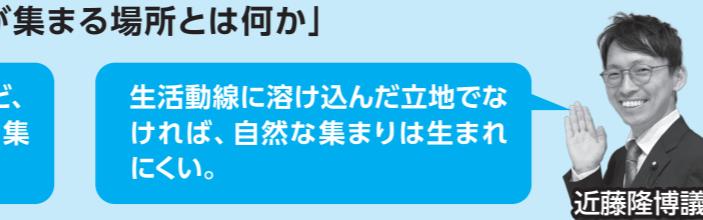
こういう施設をつくったら正解というものはない。だからこそ、どれだけ住民が関わり、納得したかが重要ではないか。



住民の「あつらいい」を聞きすぎると、結果的に使われない施設になる例もある。実際に人が集まっている自治体の実績を参考にすべきである。



学習スペースやキッズスペースなど、行かせる場所ではなく、自然に集まってしまう設計が重要である。



生活動線に溶け込んだ立地でなければ、自然な集まりは生まれにくい。



公民館だけでなく、他の公共施設も老朽化している。町全体の施設の将来像を見通した計画が必要である。



一つの施設にすべての機能を集めるのか、将来分散・再配置するのか、中長期的な議論が必要である。



議長まとめ

- 人材をどう育て、どう配置するのか
- 行政と民間の役割をどう整理するのか
- 施設整備を単体ではなく、中長期的な視点でどう位置づけるのか

今後深めるべき論点が明確になったことは大きな成果です。

本日の議論を出発点として、教育民生常任委員会をはじめ、今後の委員会審査や政策形成の場で、引き続き議論を深めていくことが重要です。

大山トリビア

いまざいけ 「今在家」 「在家」の意味は寺社の莊園の中にある村で、裕福な名主家が供物を納めていた家を「在家・宮在・家中在」などという。その在家があった場所を〇〇在家という地名が付けられた。

〈第1部〉各議員の意見

大人の背中



社会教育は次世代育成のため、大人が学び続ける姿勢を示し、地域の未来を語り合うことが大切である。

つながり



社会教育は信頼とつながりを生み、地域を支える基盤であり、公民館はその中心的役割を担う。

主体の民間移譲



公民館利用は限定的であり、行政主導の社会教育から撤退し、施設提供に役割を絞るべきである。

自治体依存からの脱却



社会教育は重要だが、人口減少と財源制約の中で行政の関与範囲を見直し、取捨選択が必要である。

つながりの豊かさ



本町は既につながりが豊かで、自然に人が集う施設づくりが今後の社会教育の鍵である。

世代間交流事業の推進



コロナ後に弱まった地域行事を立て直し、世代間交流と担い手づくりを進める時期ではないか。

無題



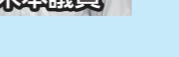
社会教育は主に幼少期から高校までの人格形成期に重視し、成人後は自主的学習にゆだねるべきである。

生涯スポーツ



生涯スポーツを通じた健康づくりと仲間づくりが、社会教育の重要な柱になる。

地域コミュニティの再生



つながりが弱まり必要な支援に届かない。公民館などを居場所に転換し、関わり続けられる場所が必要である。

吉原議長

地域の担い手が減少するなか、未来の人材をどう育していくか。新たな公民館建設も間に控え、公共施設整備の在り方、公民館や体育施設なども考慮しながら、これからの社会教育の将来像を討論しました。



人口増で集落の活性化

人口減少対策として、働く場の確保と住宅環境整備を進め、若者の定住・Uターンを促す社会教育が重要である。



人とつながり、生きる力を育てる社会教育

人ととのつながりを育てる社会教育が、不登校や若者の離職など現代課題の解決につながる。



暮らしを守る生涯金融教育

物価高や将来不安に対応するため、公民館を拠点とした中立的・継続的な生涯金融教育の充実が必要である。



生きる力につける学びの場

社会教育の拠点として、公民館と身近なサテライト拠点を整備し、世代間交流と学びの場を広げるべきである。



小さな学びの場をつなぐ

多様化する小さな学びの場を行政が把握し、人と活動を結び付ける役割が重要である。



社会教育とは地域づくりそのもの

社会教育は学びを軸に人をつなぎ、地域課題の解決と持続可能な地域づくりを支える基盤である。



地域コミュニティの再生

つながりが弱まり必要な支援に届かない。公民館などを居場所に転換し、関わり続けられる場所が必要である。

基本計画委員会での検討

新しい公民館には何ができるの？

機能要件から洗い出した必要空間を整理したところ、
主に8つのスペースが必要とわかりました。

【スペース1】コラボレーションスペース

【スペース2】音楽スペース

【スペース3】多目的スペース

【スペース4】トレーニングスペース

【スペース5】キッチン・カフェスペース

【スペース6】ショップスペース

【スペース7】キッズスペース

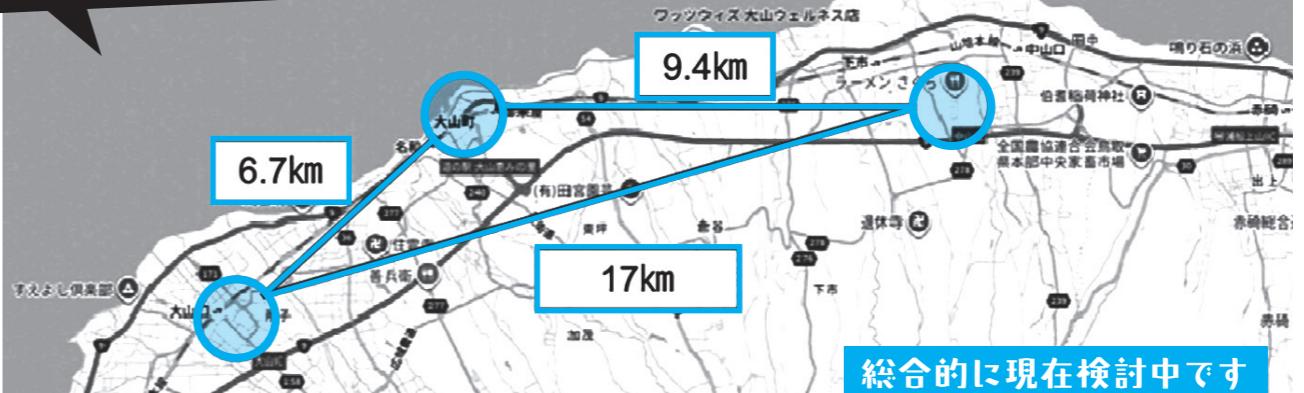
【スペース8】ライブラリースペース

3つで1つの
多目的スペース



世代間交流スペース
コワーキングスペース
サークルで
ビジネスチャレンジ

新しい公民館はどこにできるの？



総合的に現在検討中です

優先順位	新設	アクセス	人口
1	名和 道の駅～御来屋～名和駅のエリア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	大山 IC周辺～大山口駅のエリア	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
3	中山 フォーラム中山のエリア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

全議員で公民館の先進事例を視察しました

〈岡山県美咲町〉賢く収縮する（スマートシーリング）

Point!! 無駄を省く！住民理解！



西本議員

古くなって利用が減った公共施設を一つひとつ丁寧に見直していく、新しい公共施設を建設した事例です。

美咲町役場は、はじめ「倉庫かな？」と思うような外観にびっくりしました。必要最低限に経費を削減し、天井を低くして空調など維持費も抑えているが、機能はしっかりとっています。

実利を兼ね備えた取り組みでした。

〈兵庫県西脇市〉複合施設ミライエ・オリナス

Point!! 自然とつながりができる空間づくり

生徒・児童、また乳児を抱えたお母さんなどたくさんの方が、施設を利用していました。

乳児が安心して遊べるように、小学生以上のスペースとは分けてあり、さらにシニアの人々が自然に子育てがサポートしやすいゾーニング、また相談しやすい窓口・体制づくりがなされていました。

ハードとソフトが理想的に融合していました。



京力議員

教育民生常任委員会

常任委員会の活動レポート

総務経済常任委員会

水道課 水道管更新事業

生活インフラは大丈夫?

水道管が危ない?

町内では、老朽化した水道管の改修・更新工事が計画的に予定され、現在は中山地区で集中的に工事が行われている。

暮らしがどう変わる?

更新前の水道管は経年劣化もあり、漏水箇所も発生している。

更新される水道管は耐震性があり、被災時の断水の可能性を下げることで安定した水道インフラの提供につなげる。



社会教育課 芸術文化鑑賞の場

来年の総合文化祭はどうなる?



何があった?

サマーレビューにより、特別展や特別ステージを除くと、芸術文化鑑賞の場というよりイベント要素が高い。また、公民館まつりとの類似性もあり、文化祭の在り方は検討が必要と指摘があった。

今後はどうなるのか?

公募委員を含む「在り方検討委員会」で、見直しなどあらゆる可能性が議論される。(文化祭の廃止・休止は前提ではない)

財務課 サマーレビュー～事業見直し～

コストカットにつながるか!?

なぜ、今サマーレビュー?

令和7年度、本町では「サマーレビュー」と呼ばれる事業の見直しが行われた。将来に向けて歳出を抑える必要が高まっている。

サマーレビューの効力は?

「見直し・廃止方向」は最終決定ではなく、今後の予算査定をもとに決定される見通しである。

見直しを検討されている事業

- 社会教育課：総合文化祭
- まちづくり課：小型除雪機購入費補助事業
- 住民課：消費者保護事業（消費者相談体制など）

全課で64事業が「見直し・廃止方向」となっている。



農林水産課 豚熱(CSF)の発生と町の対応

ふるさと納税返礼品への影響が!?



本町における豚熱の状況

本町では令和7年に陽性個体が発見された。現在では、町内のほぼ全域が感染エリアとなっている。

食肉解体処理施設では、受け入れ個体（猪）に陽性が確認されると、新規の受け入れが停止されている。その影響がふるさと納税返礼品や道の駅、産直市への供給にも支障が生じている。

今後の課題

解体処理施設は、有害鳥獣対策と地域産業の両面で重要な役割を担っている。感染エリアは解除されることなく、防疫対策と施設運営をどう両立させるかが今後の課題である。

大山トリビア

つかづみ 「束積」 平安期に見える郷名であり室町期には、束積郷として知られ江戸期から明治22年までの村名として存在していた。由来は豊作を願う意味と考えられ、また「つか」は「塚」の意であるとして、多数の古墳が存在する説もある。

大山トリビア

とうのう 「唐王」 海の向こうや遠方の国は、みな加羅（から）と称していた。遠い夜見の国から帰った須勢理毘賣命（スセリビメ）を「唐（から）の王」とたたえたことにもとづいてと言われている。

フェックします

10月臨時会・12月議会

質疑の案

10月臨時会

大山町索道事業の設置等に関する条例の一部を改正

令和8年度からのスキー場運営に向け、町が資産を無償で引き継ぎ、指定管理者を募集するため、条例を改正するもの。

【Q】新聞報道に、資産の無償譲渡に加え、500万円の寄附とあつたが、リフトの撤去や解体などに、どの程度の費用がかかり見通しか。

【A】現在の所有者からは、スキー場が継続的に運営できるよう、今後の取り組みに活動的見通しか。

12月議会 質疑

機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

令和8年度より図書館と国際交流に関する事務をまちづくり課の所管とするため、関係条例を改正する。

【Q】図書館の移管は、どのような課題意識から行うのか。

【A】生涯学習とまちづくりを一体的に進めることなく発展につなげていきたい。

【Q】図書館の役割や中立性に変更はないのか。

【A】図書館法などに定められた役割や業務を変更するものではなく、政治的中立性や専門性に配慮し、適切に運営していく。

【Q】国際交流については、なぜ所管を変更するのか。

【A】姉妹都市交流などにおいては、町を代表する町長が統括する立場がふさわしいとの指摘をふまえ、町長部局であるまちづくり課の所管とし、窓口を明確にするものである。

【Q】機構改革にともない、人件費の上昇が懸念されるが。

【A】今回の所管替えにともなう定員増は想定しておらず、人件費が増加するものではない。

大山町放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例について

大山西児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、旧所子保育所を活用し、新たな放課後児童クラブを設置する。

中山温泉館の料金改定

中山温泉館の利用料金改定にともない、料金の上限を定めるための条例改定が行われた。



【Q】建物が老朽化しているが、修繕の予定はある。大山西児童クラブの利用児童数の増加に対応するため、旧所子保育所を活用し、新たな放課後児童クラブを設置する。

大山トリビア

「樋口」地名の由来は、中原兼遠の子樋口次郎兼光の子孫が元暦年間に当地に移り住み、集落を形成したことによるものです。この地名は、樋口神社の由緒に由来しています。



大山トリビア

「妻木」孝靈天皇は伯耆国の妻木の郷に住んでおり、朝妻という美女を宮廷仕えにして特別に愛し、孝靈山に降臨して宮殿を建てた。この伝説は、孝靈天皇の鬼退治の伝説と関連しており、妻木地名の由来と考えられている。

物価高騰対策事業(12月18日議決分)

国からの交付金を活用して、物価高騰の影響を受ける生活者・事業者を直接支援するための事業。

質疑

【Q】小林議員

物価高騰対策交付金の使途は多岐にわたる中、応援券発行と学校給食費補助を選んだ理由は何か。

【A】町長

町民に公平に効果があり、迅速に実施できる施策として応援券を選択した。給食費補助は物価高騰分を保護者に転嫁せず、無償化を継続するため優先的に予算化した。

【Q】西本議員

給食費は既に無償化されており、交付金充当は町民が実感できる支援ではないのではないか。質の向上や保護者負担発生の可能性はあったのか。

【A】町長

物価高騰により将来保護者負担が生じる可能性があるため、負担を回避し無償化と給食の質を維持する目的で交付金を充当した。

賛成 西本議員



給食費無償化自体は評価するが、すでに無償化されており交付金の効果が町民に直接見えにくい点が問題だ。将来の保護者負担回避として理解するが、今後も町の責任で無償化を継続すべきである。

議員名	浅田	小林	近藤隆	京力	西本	豊	島田	加藤	池田	大原	米本	大森	杉谷	近藤大	野口
賛否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

陳情

衆議院議員の定数削減に反対する陳情(12月18日議決分)

委員会審査意見（要旨）

小規模政党の議席減少により多様な民意が反映されにくくなること、定数削減による財政効果が限定的であることから、委員会で採択とした。國の議論を注視すべきとの意見もあった。

反対 京力議員



定数削減の進め方には課題があるとしつつ、削減自体に反対する立場ではなく、選挙制度を含め国会で十分な議論を行うべきである。現段階での判断は時期尚早である。

賛成 大森議員



衆院定数削減は民意の切り捨てにつながり、比例削減で地方や少数意見が排除される懸念がある。財政効果も乏しく、政治とカネ問題を覆い隠す動きとして問題もある。

議員名	浅田	小林	近藤隆	京力	西本	豊	島田	加藤	池田	大原	米本	大森	杉谷	近藤大	野口
賛否	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○

大山トリビア

「押平」 おしなら この地名の由来は、近世まで「押平大明神」と称されており、明治初年に境内末社が改称されたことが知られている。押平は、阿弥陀川の右岸に位置し、歴史的には米子荒尾分家の荒尾氏の給地があったとされている。

白熱討論

索道事業の条例改正(10月15日議決分)

スキーリフトを4基から17基に、豪円山ロッジとロッジ大山を町所有にする。(質疑内容はP10)

賛成 西本議員



中長期計画が未確定のまま進める点には強い懸念があり、賛成は極めて消極的である。しかし、反対すれば来季以降のスキー場運営が立ち行かなくなるため、やむを得ず賛成だ。今後は計画性と透明性を強く求める。

議員名	浅田	小林	近藤隆	京力	西本	豊	島田	加藤	池田	大原	米本	大森	杉谷	近藤大	野口
賛否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

副町長の選任について(12月1日議決分)

令和7年12月末で任期満了となるため新たな副町長に対して議会の同意を求める。

質疑

【Q】西本議員

副町長は町長を補佐しつつ、時に牽制する重要な役割である。新候補者はその役割を果たせるのか。町内情勢の理解、行政経験の十分性、自立性の担保について具体的に問う。

【A】町長 全員協議会でも述べたとおり、総合的に判断して適任である。

【Q】近藤大議員

副町長候補は着任から一年半と期間が短い。地方創生監として、具体的にどのような実績や成果があるのか。

【A】町長 各種政策の統括など、各種業務に当たってきた。

【Q】近藤大議員

業務内容ではなく、町長として認識している具体的な成果は。

【A】町長 各種成果があったと認識している。



反対 近藤大議員

候補者の人柄や能力は評価するが、副町長として何を期待し、どの役割を担わせるのか町長から具体的説明がなかった。町政全般を支える立場として経験や地域理解への不安が残り、町民に説明できる根拠がないため反対する。

議員名	浅田	小林	近藤隆	京力	西本	豊	島田	加藤	池田	大原	米本	大森	杉谷	近藤大	野口
賛否	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

用語 解説 「副町長」 任期は地方自治法によって4年と定められており、再任に制限はありません。町長の命を受け、政策の立案や執行をサポートし、町長が事故や出張などで不在の際は、その職務を代理します。

害獣被害対策は

町長 猿友会と力を
合わせて取り組みたい



町長 日程調整が
できれば取り組みたい

米国ハワイ郡との 関係構築を



【京力】害獣被害の現状把握と今後の見通しは。
【町長】3年に一度、鳥獣被害防止計画を策定し公表している。猪は増減を繰り返し、鹿は増加傾向である。

【京力】猪による畦畔の掘り返しへの支援と農地保全対策の強化は。

【町長】畦畔の直接的な支援はないが、農地保全対策としては、侵入防止策の設置などが考えられる。
【教育長】家庭、地域とある中で学校現場ではスクールバスの乗り降りの際、熊との遭遇や目撃した場合の指導は。

連携しながら子どもたちの安全を確保したい。目撃情報があつた場合は、連絡アプリのマッチングで流したり、町公式LINEの登録も啓発したり、なるべく一人にならず寄り道しない指導をしている。

学校における図書購入費と装備費の取り扱いについて質問しました。教育長からは、町立図書館と同様に今後も図書購入費と装備費は別々に積算、予算化をはかつていてと答弁を得た。



スキー場グリーン シーズンの体制は

町長 新たな指定管理者と
進めていきたい



豊 哲也 議員

【豊】リフトの再配置計画は、20億円のリフトが3本で60億円という概算も出ているが、2本でいいのでは。

【町長】運営実績のある事業者がつくった中長期ビジョンを踏まえた概算だが、更新時期などで見直しもある。

【豊】グリーンシーズンのほうがより収益を上げているスキー場もあるが、難易度が高い。どのような体制で取り組まれるのか。

【町長】新たな指定管理者とともに協議の上、進めていきたい。

【豊】グリーンシーズンの予算は毎年数千万か



数十億の巨額な事業

ら数億円必要じやないかと思っている。町民からも新たな事業をしたいとの声もあるが、取り組みにくい面もあるが、環境省などとしっかりと協議すれば進められないことはないと認識している。

【町長】国立公園内で取り組みにくい面もあるが、環境省などとしっかり協議すれば進められないことはないと認識している。

多胎育児支援の 取り組みは

町長 ラーニングをとらえ
制度を改善していく



近藤 大介 議員

【近藤】双子や三つ子の育児は、保護者の負担が大きい。他市町ではサポートを無料で派遣し、日常の家事や育児、外出支援を手伝う事業を行っているが、本町の取り組みは。

【町長】妊婦健診で健康の保持をはかり、出産後は医療機関と連携しフォローしている。

令和7年度から、子育て世帯訪問支援事業により、多胎児家庭では、家事育児の訪問支援の利用が可能となっている。

【近藤】利用料金は、1時間当たり1500円に訪問費用



多胎育児は負担も大きい

930円が加算される。非課税世帯は無料である。

【近藤】他市町は、課税世帯も無料だが、制度拡充の考えは。

【町長】利用の状況やニーズを的確にとらえ、改善をしていくことは必要と考えている。

このほか、重点支援地方交付金を活用して、農業・漁業や、商工事業者などへ支援することを求めました。

また、6月定例会で取り上げたラーニングの検討状況について質問しました。



来庁されたDennis Onishi副議長

訪問は公式なもので、郡議会側から本町へ文書により依頼があった。経済交流のハドルは高いが、実現すれば本町の事業者にとって非常に有益だ。

また、観光の先進地区で、本町としては学べる部分が大きい。

こちらからも公式に訪問するのが礼儀だ。訪問するものが礼儀だ。そして、関係構築を模索すべきだ。

日程調整ができるれば公式に訪問し、関係構築に取り組みたい。

多胎育児支援の 取り組みは

町長 ラーニングをとらえ
制度を改善していく



近藤 大介 議員

930円が加算される。非課税世帯は無料である。

【近藤】他市町は、課税世帯も無料だが、制度拡充の考えは。

【町長】利用の状況やニーズを的確にとらえ、改善をしていくことは必要と考えている。

このほか、重点支援地方交付金を活用して、農業・漁業や、商工事業者などへ支援することを求めました。

また、6月定例会で取り上げたラーニングの検討状況について質問しました。

このほか、重点支援地方交付金を活用して、農業・漁業や、商工事業者などへ支援することを求めました。

また、6月定例会で取り上げたラーニングの検討状況について質問しました。

見守りをデジタルで効率化しないか

町長 オンライン診療の状況をみて検討する



浅田龍太郎 議員

[浅田] 独居高齢者の見守りの把握方法は。
[町長] 地域包括支援センターが中心となり、75歳以上の独居高齢者のうち、状況が把握できない人を対象に訪問している。令和7年度は291人を対象に調査し、必要な支援につながった事例もある。

[浅田] 現在行っている見守り施策の効果は。
[町長] 民生児童委員による見守り活動は、孤立防止や福祉ニーズの早期発見に役立つている。また、24事業所と見守り協定を結び、事業活動の中で気づいた変化を町へ知らせてもらっている。

[浅田] スマートスピーカーを、見守りや家族との連絡手段として活用している自治体もある。本町ではデマンドバスや診療予約など幅広い活用が考えられる。デジタル技術の補完によって、効率化をはか

ることで現場の負担軽減につなげる考えは。A-H-A-O-Tの活用は有効であるが、プライバシーへの配慮が必要である。今月から始まるオンライン診療の実証状況によって効果的な活用を検討する。



話すだけの最新技術

天然資源を大切に 対策をして守る



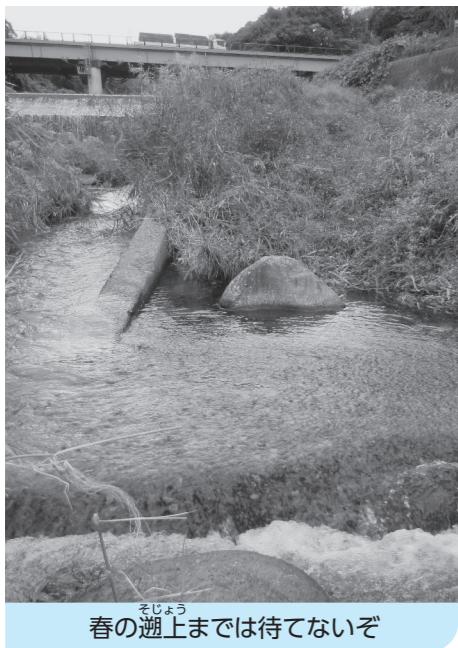
野口俊明 議員

[野口] 川や海の資源を守る。川や海の天然資源を守るには、森から川、海への一連の生態系ネットワークを、保護することが不可欠だ。

[野口] 魚道が死んでい

[町長] 川管理河川については、治水対策事業を優先し、実施されている状況である。

[野口] 犀焼け対策は。
[町長] 対策としては、食害生物の駆除、藻場の再生、環境の改善などとなり、それぞれの



春の遅上までは待てないぞ

海域に合った対策を組み合わせて進めている。

[野口] 子どもたちに季節感のある町の資源をどう教えている。

[教育長] 町の教育振興計画によつて、「大山の恵みを受けて幸せな未来を創造する人づくり」を基本理念に、豊

かな自然あふれる本町ならではの恵みを生かし、子どもたちが五感で味わう学習の充実をはかっている。

天然資源を大切に



行事の継続・ 廃止の考え方を ふまえ判断する



小林直哉 議員

[小林] 町が支援をする行事の人的負担の評価は行われているか。

[町長] 人的負担部分の費用負担評価は行っていない。動員負担が特定の課に集中しないよう調整をしている。

[小林] 行事への参加者の減少がみられた際、縮小・廃止の考え方。

[町長] 参加者の減少そのものを判断基準とせず、事業意義などをふまえて判断している。

[教育長] 参加者を増やす方向で取り組む。増加しない場合、十分な検討の上で縮小・廃止を促すこともある。



必要性に応じた行事支援を

が寄付やスポンサーを募る際に、ふるさと納税の仕組みを利用し協力できないか。

[町長] 内容が本町の施策と合致し、公益性が認められるものであれば、町事業・補助事業として仕組みを構築することは可能である。

行事の継続・ 廃止の考え方を ふまえ判断する



[小林] 本町で新たな取り組みを行う市民のニーズや声をどのように把握するか。

[町長] 直接相談に来られる事もあるし、私を含め職員がイベントや会合などに参加した際に意見交換する。

[天原] 事務の人材不足を、農協・普及所・共済組合・改良区などに協力依頼できないか。

[町長] 事務を担うことはむずかしいと考える。事務ができなくて農業基盤が守れないとなら

半減するのではないか。さらなる集落間の話し合いが必要ではないか。

[町長] 担当課で相談に応じる。

[天原] 事務の人材不足を、農協・普及所・共済組合・改良区などに協力依頼できないか。

[町長] 事務を担うことはむずかしいと考える。事務ができなくて農業基盤が守れないとなら

ば、必要な支援をしたい。

[町長] 国の予算が付けないよう、持続可能な体制を検討していく。

[天原] 構成員を減らさないためにも、40代・50代・60代の兼業農家にも草刈機購入の助成をしないか。

[町長] 本年継続を断念した団体は中山間地域等直接支払制度の活用が75から64、多面的機能支払交付金が76から67と、全体の1割強である。このままだと5年後には参加協定数が半減するのではないか。

[天原] 担当課で相談に応じる。

[天原] 事務の人材不足を、農協・普及所・共済組合・改良区などに協力依頼できないか。

[町長] 事務を担うことはむずかしいと考える。事務ができなくて農業基盤が守れないとなら

ば、必要な支援をしたい。

[天原] そのほか、淀江インターハイド利用事業の進展状況や、大山口集落周辺に町営公園の建設について聞いた。公園については、現在のところ計画はないとの答弁であった。引き続き要望していただきたい。



老朽水路を維持できるか

集落営農は継続できるか

町長 話し合いを続けたい



大原広巳 議員



大原広巳 議員

秋の語る会は、 集落訪問

今回は、上萬・旧奈和・退
休寺・岡・大山寺集落と、他
に要望のあった2団体へも
訪問しました。
また今回は、初のオンライン
開催を試験的に行い
ました。

議員と語る会



初のオンラインでの議員と語る会

語る会での声



川に泡や濁り、匂いが見られるが、畜産排水が
流出しているのではないか。

町の水質検査では異常はないと報告を受けている。
しかし、流出しているのであれば県への報告が必要
である。

集落放送の故障が多く何か対策できないか。

全額補助ではないが有線・無線共に補助はある。

現代版牛馬市としてドリームカーフェスタが開催されて
いるが、お金が無駄に使われていないか。
気になるイベントでもあるので情報提供をしてほしい。

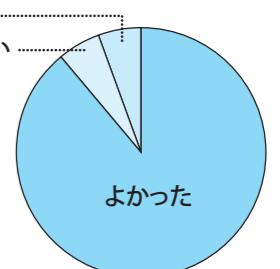
職員人件費を除き、他は企業版ふるさと
納税で運営している。
大山チャンネルなどでの広報を要望する。

大山スキー場の今後について、今後新しい事業者になりテコ
入れをしていくと聞いているが、町民の負担が増えることは
やめてほしい。

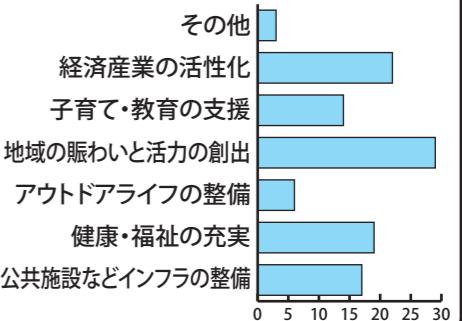
説明会には5社参加があった。冬季は降雪量
によって左右されやすい。グリーンシーズンの
活用も含め注視していく。

アンケート結果

参加者60人(前回秋43人)
語る会の評価は?



町の施策で関心のあるものは?



大山町議会12月定例会

新副町長が就任しました

大山町議会12月定例会において、現副町長の吉尾啓介氏の任期満了にともない、新副町長として、環境省から出向している地方創生監の山根篤大氏が選任されました。任期は令和8年1月1日から4年間となります。

山根篤大さんは平成2年生まれで現在35歳です。平成26年環境省に入省し、本省およびいくつかの地方環境事務所等で勤務され、直近では令和6年3月31日まで九州地方環境事務所沖縄奄美自然環境事務所奄美群島国立公園管理事務所国立公園保護管理企画官として勤務されていました。令和6年4月1日から大山町地方創生監として本町の課題解決に取り組んでいます。



山根篤大 副町長

鳥取県町村議会議員研修会

令和7年11月28日鳥取県町村議会議員研修会に議員全員で参加しました。

講演内容①

演題／「地方議員のなり手不足の背景を考える」

講師／拓殖大学政経学部教授
河村和徳 氏



講演内容②

演題／「住民と地域が期待し、求められる議会とは何か。
～データに基づく現状と課題から考える～」

講師／一般社団法人地方公共団体政策支援機構上席研究員
渡辺太樹 氏

「議会だよりだいせん」の感想をお寄せください

Webアンケート

右記の2次元バーコードを読み取っていただくと、アンケート
入力フォームにアクセスできます。(所要時間3分程度)



Faxやメールでも受け付けています。

良かった(分かりやすかった)記事、悪かった(分かりにくかった)記事など、
議会だよりの感想をお聞かせ下さい。

議会や町政へのご意見・ご要望などもお気軽にお寄せ下さい。

Fax 0859-54-5214

gikai@town.daisen.lg.jp

鳥取フリースクール

こ・ラボ 大山校

3つの体験活動



音楽・演劇・アートなど芸術活動を通して表現を育む時間です。



「やったー」を活動に取り入れる取り組みです。これまでにカラオケ、映画鑑賞、スケートボード、流れのアーチ、子どもたちの国などいろいろな場所で活動しました。



大山の自然を活用し遊びを学びに変える活動です。沢登り・サップ・大山登山・スキーなど挑戦的な自然体験を通じて成長を促す遊びや、森の国、公園、体育館などで日常的な遊びをこころもか。



大山町の自然を体験

大山町からの支援



旧逢坂保育所で第1回こ・ラボ芸術祭を開催

本町では、鳥取県と合わせて通学補助として円額最大3万円の支援を実施しており、この金額は鳥取県内最大です。令和7年度より給食費への補助も開始されるなど、保護者と子どもたちにとって非常に心強い支援体制が構築されています。

問い合わせ先

鳥取フリースクール こ・ラボ大山校
西伯郡大山町富長 159-1 コワーキングスペース TORICO
電話／080-3877-8739 <https://tottori-kolabo.jp>

4日に議員となり、気づけば12月定例会を迎えました。この8カ月の間に多くの経験を重ねてきましたが、特に強く感じたのは、休憩時間に交わされた議員同士の率直な意見交換の重要性です。

町民の皆さんから寄せられた声や議案への考え方を共有し、本会議の議論をより深める貴重な時間となっています。残念ながら配信されない裏側ではありますが、議会を動かす大切な場の一つです。

今後も互いに協力しながら、町民の皆さんに関心を持っていただける議会づくりに努めてまいります。

(近藤隆博)

こ・ラボの構成

一人ひとりに応じた個別最適な学習じ、多様な体験活動の一一本柱によって構成されています。

午前中の2時間を学習時間とし、児童生徒が自ら課題を設定し、それぞれのペースで主体的に学ぶ取り組みを行っていきます。